



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要			
建物名称	(仮称)順天堂三島キャンパス講義棟新築工事	BEE	1.2 BEEランク B+ ★★

2. 重点項目への取組み度			
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3 /5		ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4 /5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.8 /5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4点以上	ふつつ 3点以上
			がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.3	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ③ブラインドの採用 ④耐用年数の長い外装仕上げ材を採用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑤外構緑地指数50%以上を確保した。 ⑥建物間隔を十分に空け、歩行者空間へ風を導く形状としている ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦高断熱であり、建物外皮の熱負荷を抑制している ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪自動水栓、節水便器の採用 ⑫雨水利用設備を導入している ⑬躯体と仕上げ材が容易に分別可能である ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭燃焼機器を使用していない ⑮隣棟間隔が0.5以上である 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.9
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰電気設備・精密機械の地下空間への設置がない 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
		"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑱バリアフリー法誘導基準相当の計画とした ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ㉑防犯カメラを設置し、防犯性に配慮している 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		
	"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.8
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ㉓外構緑地指数50%以上を確保した ㉓建物間隔を十分に空け、歩行者空間へ風を導く形状としている ■敷地外環境対策 (㉔持続可能な森林から産出された木材/㉕温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ㉕隣棟間隔が0.5以上である 	Q-3 1 ⑳ 2 ㉒ 3 3.2 ㉓ LR-2 2 2.5 ㉔ LR-3 2 2.2 ㉕	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ㉓ 敷地内温熱環境の向上 ㉔ 持続可能な森林から産出された木材 ㉕ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE®-建築(新築)2021年SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)順天堂三島キャンパス講義棟	階数	地上3F
建設地	静岡県三島市大宮町 三丁目3561-1	構造	S造
用途地域	第一種中高層	平均居住人員	400 人
地域区分		年間使用時間	2,600 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 0.0	評価の実施日	2023年1月23日
敷地面積	18,320 m ²	作成者	鈴木 建治
建築面積	1,413 m ²	確認日	
延床面積	4,093 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健) 2.0
4(教育) 2.7
5(シニア) 2.1
6(水・衛生) 2.1
7(エネルギー) 1.5
8(経済・雇用) 1.8
9(イノベーション) 1.3
11(都市) 1.6
12(生産・消費) 1.8
13(気候変動) 1.8
15(陸上資源) 1.9
17(実施手段) 1.2

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。	その他 本物件は既存校舎が建つ敷地内に新設される講義棟である。既存校舎と調和しつつ、シンボリックな建物となるよう計画されている。また、近隣住民に配慮し、近隣住戸に面する部分は極力開口を避けた計画としている。	
Q1 室内環境 居室の換気量を十分に確保している、また建築基準法規制対象外となる内装材を採用している	Q2 サービス性能 内外装材に防汚性の高い建材を採用するなど、維持管理に配慮した計画となっている、また階高のゆとりが十分にある	Q3 室外環境(敷地内) 空調機器は主に屋上に設置し高い位置からの放熱に努め、敷地内歩行者への暑熱環境へ配慮している
LR1 エネルギー BPI=0.62であり、年間熱負荷の少ない建物となっている	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用等、節水に配慮している	LR3 敷地外環境 適切な数の駐車場・駐輪所を設け、交通負荷抑制に配慮している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される